

# きとう俊郎県政レポート



愛知県議会議員 **きとう俊郎**

## ■プロフィール

- 昭和31年9月鹿児島市生まれ(66歳)
- 創価大学法学部卒業
- 積水ハウス(株)、積水ハウス不動産中部(株)を経て、平成15年県議会選挙初当選(現在5期)
- 公明党愛知県本部 代表代行
- 公明党愛知県議員団 団長
- 愛知県議会 健康福祉委員長歴任・産業労働委員長歴任
- 資格 防災士
- モットー 「我以外皆我が師」
- 趣味 音楽鑑賞(ジャズ)



Youtube



Twitter



ホームページ



Facebook



Instagram

きとう俊郎SNSはこちら→

## 結党60周年目指し勝利を誓う

2023年が始まりました。公明党は昨年9月の党大会において山口那津男代表のもと、明年の結党60周年を目指し新出発致しました。これもひとえに党員、支持者の皆様のご支援のたまものと心より感謝いたします。

私は初当選以来20年間「生活者の視点」で行動してまいりました。そして、今後もコロナ禍が続く中、地方創生の流れを力強く進めていかなければなりません。今後とも「大衆とともに」との公明党の立党の精神を忘れることなく、皆様からのご期待に応えられる議員となれるように戦い抜く決意です。ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

公明党は2023年 統一地方選の一宮市議会議員選挙において以下の5人を公認しました



しばた 雄二(現)



平松 くにえ(現)



水谷 ちえ子(現)



かわむら 弘保(現)



市川 ともあき(現)

## 実績

がん患者向けの医療用ウィッグや乳房補正具への補助制度を実現

きとうは、**がん患者のために**頑張っていると聞いたけど、**何をしたの?**

働く人ががんにかかると3割の人が会社を辞めちゃうんだ。家計や将来への不安が大きいヨネ。だからきとうは議会質問で仕事をしながらでもがんの治療ができるよう、「**がん患者就労継続支援検討会議**」を提案し、**実現**。がん患者のための政策を次々と前に進めているんだ。

女性には心強イネ!

更に、医療用ウィッグや乳房補正具などの購入を助けてくれる**補助制度も要望し、がん患者さんのサポートを充実させたんだよ!**

※ (一宮市の場合) 購入費の**2分の1(上限20,000円)**

がん患者さんの事以外にも沢山の**実績があるんだ**。今では多くの人利用している**ヘルプマーク**も、きとうが議会で強く要望して、**希望者全員への配布が愛知県で初めて実現したんだ!**

それはすごイネ!

生活者の視点で  
県政に切り込む!

## きとう チャレンジ宣言

CHALLENGE!

### 安心

- 高齢者の医療、介護を支える地域包括ケアシステムの構築
- 防災・減災を進める国土強靱化地域計画の推進
- がんの予防対策とがん患者の就労継続を進めます

### 未来

- 企業誘致を進め産業が発展する一宮市を作ります
- 子育て応援トータルプランを推進します
- 商店街を地域コミュニケーションの中心として発展策を推進

### 生活

- 認知症の人と家族を支援する認知症対策を推進
- 中小企業の抱える困難な課題の解決に支援策を図ります
- 若者の活躍による地域活性化と若者の雇用対策を推進



誠実に徹します。

# きとう俊郎

20年間で市民相談  
**10,000件**

小さな声を聴く力!

議会質問 **122回**

## 実績 医療的ケア児支援センターを開設

令和3年12月県議会で、たんの吸引や人工呼吸器の使用が必要な「医療的ケア児」を支える家族の負担が重いことを訴えました。

令和3年に施行された「医療的ケア児支援法」で、家庭への相談などを行う「医療的ケア児支援センター」を都道府県が設置できることに言及し、支援拡充を求めました。

大村知事は「医療的ケア児支援センターを来年度に設置したいと考えている」と答弁。令和4年4月に県内7ヶ所にセンターが設置され、一宮市にも「一宮医療療育センター」(尾西記念病院の横)に「医療的ケア児支援センター」が設置され、多くのご家族に喜ばれています。



## 実績 愛知県の公共施設で難病患者への利用料減免を実現

「障害者総合支援法」において、治療方法が確立していない難病等により障害がある人が追加されました。

しかし、愛知県美術館の観覧料や都市公園の使用料など、主な公共施設の料金減免は、難病患者には適用されていませんでした。

そこで、きとうは議会で減免対象を難病患者にも拡大すべきだと主張し、令和4年4月1日から減免が実現しました。愛知県難病団体連合会から感謝の声が寄せられています。



## 実績 歩行者用信号機設置などで通学路を安全に

これまで、通学路の安全対策に長年、取り組んでまいりました。この度、今伊勢小学校の通学路である「馬寄交差点」に歩行者用信号機とガードレールを設置し、安全対策が前進しました。

また、視覚障がい者の方から「音の出る信号機」の設置要望をいただき、一宮市開明にある尾西第三中学校交差点などに設置することができました。



## 実績 不育症の専門相談センターを設置

不育症とは、流産や死産を繰り返し、赤ちゃんが育たない病態をいいます。しかし適切な検査や治療を行えば、85%の患者さんが出産できることがわかっています。公明党の推進で治療薬の保険適用が実現し、対策が進みました。

きとうは県議会の質問で不育症の相談窓口の設置を要望し、平成24年4月、名古屋大学医学部附属病院に不育症の専門相談センターが開設され、多くの方に利用されています。



## 実績 物価高騰の影響を受けた子ども食堂への補助金を実現

コロナ禍の影響で食料品や光熱費の値上げが続き、県内の多くの子ども食堂では、資金難のため、その運営に支障をきたしていました。

その声を受けた公明党愛知県議員団では、大村知事に子ども食堂への支援を訴え、令和4年度9月議会の補正予算に補助金を予算化。今年度内に実施が決まりました。



## 輝く公明党県議団の実績

- ☆県立高校全校生徒を対象に12万台のタブレット端末を配布
- ☆ヤングケアラーの実態調査を実施し訪問型支援を提案
- ☆県内の県道全ての照明をLED化して年間3億円の節税効果
- ☆県内在住外国人が診察を受ける際の「あいち医療通訳システム」の導入

